

2024年度 Nスポーツコミュニケーション事業報告書

1. 組織運営

(1) 運営会議、全体会議、各部会会議

開催日	内容	
5月27日	総会	本年度の事業方針について
7月10日	部会長会議	統合・ビールパーティなど
7月24日	全体会議①	事業進捗と街なか運動会等について
8月23日	青少年育成	ビールパーティーについて
10月2日	全体会議②	事業進捗と来年度に向けて
10月30日	部会長会議	準備委員会などの参加者人選
11月25日	全体会議③	本年度の振り返りと来年度について
1月22日	全体会議④	準備委員会の状況・役員推薦について

(2) 委員、アドバイザーについて

本年度は委員、アドバイザーを増員しました。

◆北海道日本ハムファイターズマスコット「B・B」※名寄市スポーツみらい大志

- ▶ 委員として参画（市民健康部会を想定）

市内イベントや少年団・エコシステム事業などに参加してもらい、子どもたちのモチベーションアップや、今までアプローチできていなかった層の取り込みなどにご協力いただく。

◆ 笹川スポーツ財団（渋谷茂樹さん、小淵和也さん）▶ 戰略設計アドバイザー

笹川スポーツ財団は産官学連携スポーツ団体の運営に知見を持ち、今後 笹川スポーツ財団が提唱する「アクティブシティ※」構想の推進も図っていく。彼らの知見を元に N スポーツコミュニケーションの組織運営や事業開発にアドバイスをもらう。

※アクティブシティとは

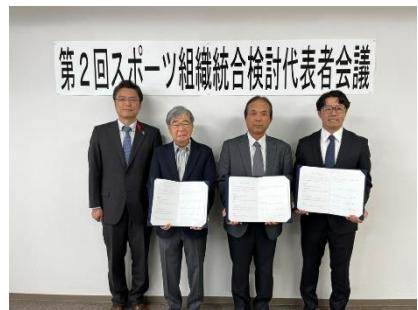
笹川スポーツ財団が提唱しているもので「スポーツ・運動、健康づくり、まちづくりに関わる組織や人々が協働し、住民一人ひとりのウェルビーイングの向上を目指すとともに、スポーツの多様な価値を活用して地域の課題解決に取り組むまち」を指す。名寄市はすでにアクティブシティ化が進んでいる街として、昨年から調査に入っていた。

(3) スポーツ団体組織統合の進行状況について

2024年7月の運営会議にて新法人に向けた当団体の方針を定め、各スポーツ協会に提示後、11月に統合に向けた準備委員会が立ち上がった。当団体からは遠藤副会長と小笠原市民健康部会長が委員として参加、遠藤副会長が準備委員会の委員長に、筒井風連スポーツ協会が副委員長に就任した。月に2回ほど、計9回の委員会を開催して方針を決定した。

第3号議案

当団体から新法人への理事・評議員の推薦を行い、2025年5～6月の名寄スポーツ協会・風連スポーツ協会の総会を経て、名寄スポーツ協会の名称を「一般財団法人Nスポーツコミッショナリヨロ」と変更して統合される。



2. 事業報告

(1) 全体事業について

① 街なか運動会

今年度は競技エリアを縮小して名よせ通り商店街のみにしたことであざわいが増え、警備費などの削減につながった。定番の人気競技に加え、リレーをタイム申告にしたり、玉入れの新種目を加え、昨年よりも100人以上延べ参加者数が増えた。

また、飲食ブースは今年から出店料3,000円を徴収し5店舗の出店となつた（名寄せ商店街、タカハシ惣菜店、鈴木ビビットファーム、創作キッチンたまさぶろう、カントリーマム）。

【日 時】 9/8（日）9:45～15:00

【場 所】 名寄駅前商店街

【参加者】 延べ579名（実人数373名）（昨年は延べ443名）

【実施競技】 ランニングバイクレース、幼児30m走、初めてのお買い物競走、買い物競走、パン食い競走、746リレータイム申告、746TAMA-IRE（小学生・一般）、綱引き。その他、会場内に飲食ブースや競技体験ブースを設置

【事業費】 1,281,281円



第3号議案

② なよろスポーツ熱盛り（あつもり）ビールパーティー

競技団体間の保護者及び指導者のつながりづくりを目指し、地域全体としてアスリートを支えるマインド醸成を図る。青少年育成部会を中心企画運営。200名の予定のところ317枚が販売され、スポーツ関係者だけでなく、経済団体、福祉団体など幅広い団体・人たちの参加につながった。協賛も37団体からいただいた。

【日時】9/6（金） 18:00～20:00

【場所】藤花

【チケット代】3,500円

【チケット販売枚数】317枚

【収支】収入：1,263,100円

支出：事業費 1,020,100円

競技団体支援金 243,000円 (9団体×27,000円)

【ゲーム内容】bingo、腕立て伏せ、時間計測チャレンジ、けん玉

【協賛企業】37団体

五十嵐HD、中館建設、名文堂、トータルメンテナンス、喜信堂、名薬調剤センター、大野土建、川原クレーン、とみなが、昭和産業、第一建設、川原観光、道北なよろJA、名寄振興公社、遠藤農場、北建工業、北星信用金庫、ミヤザキ、明石組、大野組、坂下組、桜井組、高橋組、ダスキン滝沢、東洋社、北方印刷所、丸徳木賀商店、コピーセンターグローバル、かね吉沖澤板金、鷺田ファーム、トトリ名寄、靴・スポーツのすま、スナックマドンナ、大沼左官工業、セブンイレブン名寄中央店、なよろ陽だまりの会、アルテミス北海道



③ スポーツモチベーションUP事業（新規）

北海道日本ハムファイターズマスクットB・Bさんと連携したプロジェクト。これまでアプローチできていなかった層や子どもたちへのスポーツ参加意欲を高める。以下の日程で来名。 ※QRコードはブログでの名寄紹介▶



計11回来名、24日間滞在。

【第1回】4月3日 「名寄市スポーツみらい大志」認定式

【第2回】7月22～23日 名寄高校部活動、Nス포キッズ、少年団（クロカン・南ジュニアバレー・南クラ野球・北翔野球）、Nスポート運営会議

【第3回】8月19～20日 商店街、Nスポートキッズ、Nスポートウォーキング、少年団（東サンライズ・西クラブバレー、ミニバス）

第3号議案

【第4回】9月6~11日 Nスポートビールパーティー、街なか運動会、智恵文小学校、Nスポートキッズ、マルチスポーツ体験会（弓道）、名寄産業高校、Nスポートウォーキング、インボディ測定会

【第5回】9月16日 白樺カントリー倶楽部 開場記念フェスタ

【第6回】10月14~15日 ノルディックウォーキング競技会、スポーツ健康フェスティバル、市立大学、Nスポートキッズ

【第7回】11月9~12日 市民ボッチャ交流大会、ママさんバレー大会チャンスカップ、少年団訪問（カーリング）、学校訪問（西小1・2年、東小1・2年、智恵文小中1~4年、南小1~4年、風小4年）、Nスポートキッズ、オクトーバーラン&ウォーク

【第8回】1月19~20日 スノーマラソン、中名寄小クロスカントリー教室、Nスポートキッズ、集合型プログラム

【第9回】2月2日 Nスポートキッズ体力測定

【第10回】3月1日 名寄産業高校卒業式

【第11回】3月8~9日 ジュニアオリンピック

（2）青少年育成部会

① ジュニア指導者講習会

怪我・障害予防のためのコンディショニングケアからのパフォーマンスアップへの取り組み

あさひかわ整形外科・スポーツクリニック 佐々木 祐介氏

【日 時】11月23日（土） 18:30~20:00

【場 所】市民文化センター

【参加者】20人



② 北海道ジュニアスポーツエコシステム形成事業

三菱UFJ銀行の企業版ふるさと納税を原資に2023~2032年の9年間で実施する。

- ・子どもたちが夢をもって高校生までスポーツを続けられる環境を整えるために、ジュニア育成を実施しながら、協力競技団体と共に、ジュニアの新たな受け皿をつくる。
- ・同時に指導者の意識改革、及び指導力のレベルアップを図り、長期的なジュニアの育成モデルを形成する。
- ・部活動改革が社会的な課題となっている中で、競技団体等が主体となって小学生から高校生まで育成する新たな受け皿を増やしていく取組み、地域内で一貫した育成体制の構築を目指す。

第3号議案

事業設計と説明会を実施した2023年度を経て、2024年度は参加競技団体を選定し、各競技団体は計画に沿って活動を進め、定期的な「共創会議」や「集合型研修」を実施している。

小学生～高校生までの育成プログラムや、一貫育成体制構築に向けたグランドスケジュールなどを提出してもらっている。1年目は各競技団体の子どもと指導者が同時に講習等を受けられる場の形成や、交流をテーマとする。また、定期的に競技団体ごとの活動状況を共有する。

【参加団体】9 競技団体 10 少年団

サッカー、バレー、ソフトテニス、バスケットボール、弓道、剣道、トランポリン、カーリング、アルペンスキー、クロカンスキー

【拠出助成金】 7,171,200 円 (2024年度は実施回数による)

名寄 (風連) 剣道連盟 806,400 円

名寄地区サッカー協会 806,400 円

風連トランポリン協会 806,400 円

名寄市弓道会 518,400 円

名寄市バスケットボール協会 806,400 円

名寄ソフトテニス連盟 806,400 円

名寄カーリング協会 648,000 円

名寄地方スキー連盟 (アルペン) 360,000 円

名寄地方スキー連盟 (クロカン) 806,400 円

名寄市バレー協会 806,400 円

第1回エコシステム共創会議 出席者名簿

出席者	所属
千葉 章雅	名寄地区サッカー協会
佐藤 信吾	名寄地区バレー・ボール協会
小林 昌史	名寄地区バレー・ボール協会
森田 俊雄	名寄ソフトテニス連盟
桜田 孝臣	名寄地区バスケットボール協会
戸奈 至治	名寄弓道会
中屋 玲央	名寄(風連)剣道連盟
山崎 真由美	風連トランポリン協会
杉野 航太	風連トランポリン協会
清水野 葉也	名寄カーリング協会
寺島 峻介	名寄ビヤシリアルベンスキー少年団
長野 弘樹	名寄ビヤシリアルベンスキー少年団
三上 岳瑠	名寄ビヤシリクロカンスキー少年団

※Nスポーツコミッション

出席者	所属
清水 幸子	エコシステムアドバイザー(名寄市立大学)
大沼 広明	Nスポーツコミッション 青少年育成部会会長
泉谷 暖	Nスポーツコミッション 委員
今井 利恵	Nスポーツコミッション 委員
松澤 大介	Nスポーツコミッション 事務局長
三上 岳瑠	Nスポーツコミッション 事務局

●エコシステム共創会議

5月31日(金)、8月30日(金)、11月19日(火)、2月17日(月)

各団体の進捗状況確認、集合型プログラムなどについて報告と協議



第3号議案

●集合型プログラム

○マルチスポーツ体験

- ・カーリング→弓道

日時：8月27日19時～ 場所：北体育館（弓道場） 参加者：選手6名、コーチ4名

- ・トランポリン→弓道

日時：9月9日（月）19時～ 場所：北体育館（弓道場） 参加者：選手21名、コーチ16名

- ・クロカン→サッカー

日時：11月2日（土）9時30分～ 場所：ピヤシリフォレスト 参加者：選手12名、コーチ4名

- ・ソフトテニス→バスケットボール

日時：3月29日（土） 場所：東小学校 参加者：選手24名、コーチ3名

- ・剣道→バレーボール

日時：3月31日（月） 場所：東小学校 参加者：選手30名、コーチ5名



○「ケガの予防からパフォーマンスアップまで」

【日時】8月10日（土）9:00～11:00

【場所】名寄市スポーツセンターアリーナ

【講師】 窪田亮氏（くぼた神居整骨院 院長）

【参加人数】選手：66名 指導者30名



○「コーディネーショントレーニングの重要性について」

【日時】10月7日（月）18:30～20:00 【場所】名寄市立大学3号館 1F 体育館

【講師】 窪田亮氏（くぼた神居整骨院 院長）

【参加人数】選手：88名 指導者・保護者：25名 大学生：23名

第3号議案

○「コーディネーショントレーニング（股関節編）」

【日時】1月20日（月）18:30～20:00 【場所】名寄市立大学3号館 1F 体育館

【講師】 窪田亮氏（くぼた神居整骨院 院長）

【参加人数】選手：69名 指導者：20名

○スポーツ栄養学とスポーツキャリア

【日時】2月26日（水）18:00～20:45 【場所】なよろ温泉サンピラー比翼の間

【講師】

（スポーツ栄養） 下坂彩氏（名寄市立大学 栄養学科講師）、

清水幸子氏（名寄市立大学・エコシステムアドバイザー）、名寄市立大学勝ち飯サークルの学生

（スポーツキャリア） 富山浩三氏（大阪体育大学体育学部健康・スポーツマネジメント学科教授）

大阪体育大富山ゼミの学生

【参加人数】選手：12名 指導者：6名

●名寄高校部活動オープンスクールNCP

【日時】10月19日（土）13:00～17:00

【場所】名寄高校

【参加部活】剣道・男女卓球・野球・陸上部・男女バドミントン・吹奏楽・美術・新聞局

【参加人数】生徒58人 指導者15人



③ 青少年スポーツ団体加入促進事業

● スポーツ健康フェスティバル 2024

【日時】10月14日（月・祝） 9：30～12：30

【場所】名寄市スポーツセンター

【内容】参加者全 285 人

・キッズ☆スポーツ体験会 174 名

・親子 de エクササイズ（要事前申込） 14組 32 名

講師：三澤 美穂氏

・InBody470・超音波骨密度測定会 79 名

・ノルディックウォーキング競技会（要事前申込） 41 名



統括と次年度へ向けて

・ジュニア指導者講習会を1回開催。内容的に専門性が高いものであったが、エコシステムに携わる指導者の積極的な参加もあり、指導者のレベルアップを図ることができた。中には、時間が短かったなどの声もあったため、時間設定については今後検討が必要。講師が名寄出身ということもあり、講師からも引き続き名寄のスポーツに協力していきたいというお話をいただいている。指導者講習会については、指導者だけに縛られることなく、保護者を対象にするなど他分野での講習を継続して行つていきたい。

・ジュニアスポーツエコシステム形成事業については、2024年度で本格的に事業がスタート。実績にもあるとおりこれまでできていなかった市内競技団体の横のつながりを意識して、プログラムを実施。参加した指導者、選手にも高い評価をいただいており、プログラム内で紹介したトレーニングをそれぞれの競技団体が取り入れ、子どもたちの成長に大きく繋がったという声もいただいている。大きな課題である小中高一貫指導体制の構築については、競技団体が主体となって取り組みを大きく進めしており、事業としては良いスタートを切れたのではないかと感じている。残り7年間で登録している競技団体が目標を達成できるように、引き続き事業を進めていく。本事業の課題としては、組織統合とともに予定していた地域おこし協力隊などの人材確保が出来ていない点。

第3号議案

(2) 市民健康部会

① 障がい者スポーツ振興事業

以下の事業を、社会福祉協議会と協働して実施予定。

●Nスポートパラスポーツフェス

【日 時】7月29日（月）10:00～12:00

【場 所】名寄市風連B&G海洋センター

【参加者】57名

【内 容】 ウィルチア（車いす）ラグビー、車いすバスケットボール、陸上用車いす（レーサー）、ボッチャ、車いすテニス



●市民ボッチャ交流会（協力）

【日 時】11月9日（土）9:30～16:30

【場 所】名寄市立大学体育館

【参加者】64チーム 約180名



② 幼少期運動推進事業

30～40分ほどの未就学児運動プログラムについて、市内幼稚園・保育所へ案内。11月27日に認定こども園「あいあい」で実施。1回5,000円で施設はNスポートに支払い、Nスポートはトレーナー（山本あゆみさん）に支払うスキームで実施した。



第3号議案

③ Nス포츠事業

本年度から「チャレンジクラス A」(主に小1～小2)、「チャレンジクラス B」(主に小1～小2)、「レベルアップクラス」(主に小2～小3) の3クラス、12人ごと。36人定員のところ46人の応募があり選考を行った。

【体力測定(全コース共通)】 5/26(日) 13:30～16:00、2/2(日) 9:00～13:00

風連B&G海洋センターアリーナ

【チャレンジクラス A】 16:15～17:00

【チャレンジクラス B】 17:15～18:00

場所：名寄市スポーツセンター

6/3、6/24、7/8、7/22、8/5、8/26、9/9、9/24、10/15、
10/28、11/11、11/25、12/9、12/23、1/20

【レベルアップクラス】 16:30～17:30

場所：名寄市スポーツセンター

6/17、7/1、7/16、7/29、8/19、9/2、9/17、10/7、10/21、11/5、11/18、12/2、12/16、1/14、1/27

【参加費用】 年間 10,000 円



④ 市民スポーツ振興事業

●Nスポートウォーキング

○休日ウォーキング 6, 7, 10月

6/9(日) 街なか 参加者 43名 (ゲスト: 大塚裕土)

7/7(日) 天塩川 参加者 15名

10/14(月・祝) 健康の森 (ノルディックウォーキング競技会) (ゲスト: B・B)

○平日ウォーキング 6, 8, 9, 11月

6/11(火) 街なか 参加者 20名

8/20(火) 風連駅前 参加者 22名 (ゲスト: BB)

9/10(火) 街なか 参加者 26名 (ゲスト: BB)

11/12(火) 街なか ※雨天中止



第3号議案

○オクトーバーラン&ウォーク 2024 ふるさと対抗戦／N スポチャレンジ第2弾

例年通りアールビーズ本体で実施しているものに対して、表彰・抽選会を実施。上位入賞者の賞品を 10,000 円相当にするなど参加のインセンティブを上げ、今回のように豪華賞品を用意するイベントを「N スポチャレンジ」という名称に統一して InBody チャレンジなどで実施した。

【開催期間】 10月 1日～10月 30日

【参加部門】 ウォーキング（個人）、ウォーキング（チーム／3～5人）、ランニング（個人）、ランニング（チーム／3～5人）

【参加者】 個人 ウォーク 10名 ラン 3名 チーム ウォーク 2チーム ラン 1チーム

【表彰式】 11/12（火） 18:00～ よろーな 参加者：24人

⑤ 地域資源を生かした健康づくりエコシステム形成事業

ア、企業向け健康サポート（InBody）

名寄市立大学コミュニティケア教育研究センターとの協働事業「地域資源を生かした市民の健康づくり」事業のうち InBody を活用した企業向け健康づくりに関する事業（InBody を活用して働き世代市民 1,500 人からデータを収集する。同時に企業に向けての健康プログラムの提供し、働き世代の行動変容を促す施策形成に役立てる）。昨年まで 1,203 名が登録済。データをどのように活用していくかについて名寄市立大学荻野先生、清水先生と話し合い政策形成につなげていく。

○InBody チャレンジ（N スポチャレンジ第1弾）

【測定日時】 初回測定 6/9、10、12、13 中間測定 7/24-25

最終測定 9/11、13、16

【参加者数】 132 人 最終測定参加人数 103 人

内訳：1点以上 UP38 人、変化なし 26 人、1点以上 DOWN44 人

上位者賞品はマッサージ器など 10,000 円相当（一位）のものを準備

○InBody チャレンジ Winter（N スポチャレンジ第3弾）

【測定日時】 初回測定 12/14、16、17、18 中間測定 1/27-28 最終測定 3/13-15

【参加者数】 169 人 最終測定参加人数 121 人

内訳：1点以上 UP50 人、変化なし 24 人、1点以上 DOWN47 人

個人部門のほか、ペア部門、グループ部門（3～5名）を設け、各部門上位入賞者へ景品を贈呈



第3号議案

○企業・市民向け測定会

7/8 風連農業人の会@サンピラー温泉 17名
8/1-2 市役所 79名
8/21-22 北星信用金庫 57名
8/30、12/1 子育てサロンぽかクロ 11名
9/24-27、2/17-19 市立病院 計 243名
10/1 コピーセンターグローバル 6名
10/14 スポフェス 79名
10/22 北洋銀行 17名



イ、働く女性の健康サポート

働き世代の女性にスポーツと栄養（食事）の面から健康づくりの意識や関心を高めてもらい、体力向上や運動・健康管理の習慣化を図ることにより、女性が心身ともに健康的で働きやすい職場づくりや地域の活性化につなげることを目的に計3回のプログラムを実施した。

○ゲレンデスキーツアー＆初心者スノーボード教室

冬の運動機会提供のため経験者向けのスキーツアー、初心者向けのスノーボード教室を実施。終了後は健康レシピ開発プロジェクトのおさかな餃子弁当を食べながら参加者同士の交流を行った。



【開催日時】1月19日（日）10:30～13:00



【開催場所】名寄ピヤシリスキーオー

【講師】スキー：名寄市立大学 清水幸子先生

スノーボード：ピヤシリスノーボードスクール

【参加者】11名（スキー4名、スノーボード7名）

【参加料】1,000円（ランチ付き）

○美活！腸活！健康レシピ料理教室

美容と健康に良いかで作れるレシピを4品調理した。



【開催日時】2月17日（月）18:00～20:00

【開催場所】市民文化センター 調理実習室

【講師】GRACE CUISINE 石田雅子 氏

【参加者】23名 【参加料】1,000円

第3号議案

○元気に動ける身体づくり教室

身体の作りや正しい姿勢などについて学び、日常的に取り入れられる運動プログラムを実施。

【開催日時】2月24日（月・祝）14：00～15：00

【開催場所】市民文化センター 音楽スタジオ2

【講師】インストラクター 山本あゆみ 氏

【参加者】14名 【参加料】無料



統括と次年度へ向けて

・キッズは本年度から、運動能力の差や志望者の多さなどを配慮して能力別の3クラス（1クラス12名）としたことによりトレーニングのレベルを設定しやすくなり、効果的に行うことができた。1クラス45分では足りないという意見もあったので次年度では内容を改善しさらに充実を図る。

・保育所におけるスポーツ教室は予算を取って実行する保育園もあり、一定の成果が出ている。今後も継続していく。

・ウォーキングイベントは参加者の固定化が進んできているため、本年度から「働き世代の運動習慣の強化」を目標として平日開催したことにより新たな年齢層を取り入れることができた。また、今年度ではノルディックウォーキング競技会を開催し次年度以降も継続して行う。

・働く女性の健康サポート事業については今年度初めて実施したが、アンケート結果からも「女性向けて参加しやすい」という声が多く、女性にターゲットを絞った健康プログラムを望む方が多いことがわかった。次年度は働き世代向けのチャレンジ企画と連動した事業展開をしていく。

（3）地域経済部会

<企業連携>

① スポーツツーリズムプロモーション事業（サイクリング・ウインターポーツ）

報告はなし

② 競技施設スポーツツーリズムイベント事業（スノーマラソン、ゴルフ場）

●白樺カントリー倶楽部 開場記念フェスタ ※主催は白樺カントリー倶楽部

初心者向けのゴルフや、キッズゴルフ、ジンギスカン、ウォーキング・ランニングを実施。

【日 時】9月16日（月・祝）7：00～14：00 【場所】白樺カントリー倶楽部

【参加費】1,500円（ジンギスカンと飲物付き）

【参加者】118名（ゴルフ72名、キッズゴルフ15名、ランニング14名、ウォーキング17名）

第3号議案



<大学連携>

③ 合宿受入拡大事業

スポーツによる地域経済の活性化に大きく寄与する合宿の拡大を目指した事業を展開する。

○合宿おもてなし（ドリンク差し入れ）

- ・7月27日～8月1日 北海高校陸上部 29名
- ・8月5日～8日 TONDEN.RC 40～50名
- ・8月6日 北海道ジュニアクロスカントリーチーム 48名

○合宿視察受け入れ

- ・1月26日～28日 大阪国際大学人間科学部 スポーツ行動学科

④ 地域資源を生かした健康づくりエコシステム形成事業

ア、市民向け健康サポート（健康レシピ開発プロジェクト）

本年度も名寄市立大学内サークルを中心にレシピ開発し、陽だまりと石田雅子さん（GRACECUISINE）で弁当のを製造・販売した。昨年に続き石田さんに監修に入ってもらった。



◎記者発表

【日時】11月19日（火）18:00～【場所】名寄市立大学

【取材メディア】 北海道新聞、名寄新聞、北都新聞



●まごにわやさしい疲労回復弁当、中華弁当（学生：3E 北向、黒川、志賀、富田）／製造者 陽だまり

【提供日】11/2（土）北海道・韓国U15合同合宿

【提供食数】「中華弁当」 約70食 1700円（なよろ温泉サンピラーの夕食として提供）

第3号議案



● 牛っと野菜モリモリビビンバ丼、おさかな餃子弁当（学生：2E 大町、3E 増渕・酒田）

／製造者 GRACECUISINE

【提供日】11/23（土）おさかな餃子弁当 50食 900円

11/24（日）牛っと野菜モリモリビビンバ丼 70食 900円

1/19（日）市民スキーの日 おさかな餃子弁当 24食 1,000円



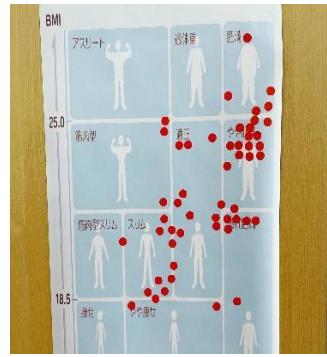
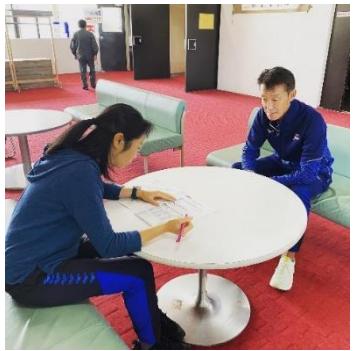
※本年度は販促物（ノボリ、卓上ノボリ、テーブルクロス各2種）を製作している



⑤ 健康科学を活用した市民の健康づくり事業（総合計画後期計画）

InBodyを使用したデータ取得に向けた取り組みを開始。3年で1,500人のデータ取得を目指す。300人目標のところ、本年度まで1,203名に実施済み。

第3号議案



統括と来年度へ向けて

- ・本年度は新法人への移行期ともなり、ツーリズムに関しては事業を実施せず、InBodyを中心とした働き世代・女性に向けたアプローチに集中し、データ収集を引き続き実施した。
- ・オクトーバーランなどの事業について、今年度は「N スポチャレンジ第2弾」として豪華商品を用意し、これまで参加しなかった層にアプローチできた。次年度では広報活動に力を入れ、新たな層の参加増進を図る。
- ・なよろ健康レシピ開発プロジェクトは陽だまりという新しい事業者との連携が図れ、可能性が広がり、提供回数も増えた。